

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ティーバージム		
○保護者評価実施期間	2026年2月 2日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自事業所(放デイ)の利用時の状況からみえる課題点や支援方法を訪問支援に活かすことで、より細かく訪問時の支援に活かしている。	自事業所(放デイ)の利用児のみ訪問支援を行うようにしている。これにより訪問時に有効な支援が見出しやすくと共に、課題点を放デイ内でも共有し、学校内での過ごしやすさを見据えた準備支援を放デイ利用時にも行うことが出来る。	更なる支援能力の向上を図るため、これまでの支援方法以外のアセスメントや支援を外部から学んでいく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今回、1名の利用児が訪問支援を嫌がっている、と保護者評価により判明した。	利用児にとって「放デイにいるスタッフが教室に在る違和感」や「学校内のクラスメートに支援の様子をみられたくない」と感じることも少なくない。	学校と協議しながら、教室内のクラスメートにも支援員の居る違和感を感じられにくいアプローチを検討していく。直接支援と間接支援のバランスを図っていく。
2			
3			